



NAGASAKI UNIVERSITY ACCESS MAP

- JR長崎駅から
路面電車
- 1番3番系統「赤迫」行き
- 「長崎大学前」下車 徒歩すぐ
- 長崎バス
- 「長崎駅前」バス停(高架広場下)
1番系統の「時津」「上床」「長与」等
- 「長崎大学前」下車 徒歩すぐ

参加無料
会場／長崎大学中部講堂(文教キャンパス内)

お申し込み・お問い合わせ
お申し込みは長崎大学ホームページへ
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

こちらからも
お申し込み
できます

受付電話番号
TEL.095-819-2007
(長崎大学広報戦略本部)

※受付時間／平日 10:00～17:00

国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY
〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学 リレー講座2017 開講にあたって



長崎大学長
片峰 茂

恒例の長崎大学リレー講座、今年のテーマは「失敗を超える力」です。意味のある発見や創造が多くの失敗の積み重ねの上にしか産まれないことを、研究を志す大学人であれば誰も知っています。人生においても然りなのでしょう。要は、失敗から何かを学ぶこと、そして失敗にめげない気概ではないでしょうか。今年も、老若男女、とくにこれから人生の荒波に立ち向かう多くの若者たちの参加をお待ちします。



長崎新聞社
代表取締役社長
才木邦夫

時代をリードする人たちを招くリレー講座は、毎年数多くの方々に聴講され、好評を博しています。「失敗を超える力」をテーマとする今年もそうそうたる方たちが登場予定で、話を聴くのが楽しみです。地場産業の不振や人口減などによって疲弊している地方を創生するかぎは、人にあります。人材育成を目指すこの講座が実り多いものになり、地域の発展に資することを祈念しています。



十八銀行
代表執行役頭取
森拓二郎

平成22年より長崎大学による地域貢献の取組の一環として開催された本講座の昨年の聴講者数は、全6回で過去最高の3千人を超え、長崎の新たな知を創造していく場として定着しています。このような地域の方々に愛されている本講座が、本年も開催されますことを大変喜ばしく感じています。今年のテーマは「失敗を超える力」です。人は失敗して試行錯誤を繰り返す中で大きく成長していくものです。各界でご活躍されている講師の方々による貴重な講演を、特に一人でも多くの若い世代に聴講いただき、未来に向け何事にもチャレンジする勇気を得る一助となることを期待しています。

〈後 援〉
長崎県・長崎市・長崎市教育委員会・長崎経済同友会・
長崎県経営者協会・長崎商工会議所・(一社)長崎青年会議所・
長崎都市経営戦略推進会議・長崎経済研究所

失敗を を超える力

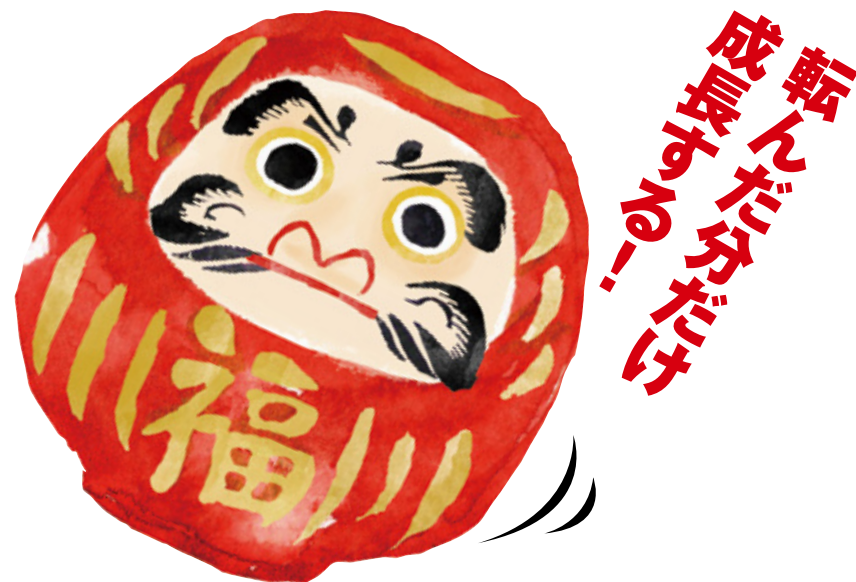
長崎大学リレー講座2017

あなたは「失敗」を極度に恐れていないだろうか――。

「失敗」は遠回りに見えるが、
「成功」への近道であるということは、古今の識者たちも唱えてきた。
問題は、その失敗を引きずり、歩みを諦めてしまうことなのだ。

社会が複雑化し、不確実性が増す今、
成功体験をなぞるだけではうまく行かないが増えている。

「失敗」を「成功の糧」に変えていくという
個人だけでなく、組織としても重要なこのテーマを、
様々な分野の先駆者の経験と提言を通して考察する。



主催／長崎大学 共催／長崎新聞社 十八銀行

失敗を超える力

第1回

5月17日(水)

19:00~20:30

スタジオジブリの 歴史と特徴

スタジオジブリのスタートは32年前。制作を続けるうちに次第に認知されるようになり今に至りましたが、その過程は成功ばかりではありません。しかしジブリの場合は、成功・失敗の区分けには収まらないユニークさによってここまで存続して来ました。ジブリの歴史と特徴を内部の視点からお話します。



野中 晋輔

株式会社スタジオジブリ
制作業務部 取締役部長

1960年岐阜県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、音響メーカーを経て1994年に株式会社スタジオジブリに入社。以後、法務・著作権分野を中心に広報・関連事業等も含む業務を重ね、現在は制作業務部取締役部長。財団法人徳間記念アニメーション文化財団評議員も務める。

第2回

5月29日(月)

19:00~20:30

知的機動力 —失敗と成功に学ぶ—

知識社会となった21世紀において、組織内外の知を総動員してイノベーションを創出する組織のあり方を論じる。過去の成功・失敗事例を参照しながら、知的機動力をもつ組織の基盤とは何か、またそのような組織を牽引するリーダーシップとはどのようなものかについて解説する。



野中 郁次郎

一橋大学名誉教授
日本学士院会員

知識創造理論を世界に広めたナレッジマネジメントの権威。The Oxford Handbook of Management Theorists(2013)でBusiness School Theoristsの10人に選ばれた。『失敗の本質』(共著、中央公論社)など著書多数。

第3回

6月20日(火)

19:00~20:30

日本のものづくりと 途上国での ビジネスとは

途上国で貧困層の生活改善に役立つ製品を届けるコペルニクは、日本企業と連携をして、日本の技術力で途上国の人々に貢献し、また、日本企業の途上国ビジネスを発展させるべく活動を行っています。途上国で求められる技術とは?留意点とは?ビジネスと社会貢献の両立について、お話しいたします。



天花寺 宏美

一般社団法人コペルニク・ジャパン
代表理事

一般社団法人コペルニク・ジャパン代表理事として日本でのコペルニクの活動全体を統括。企業のCSR活動に関するパートナーシップ構築や協業プロジェクト実施とともに、途上国向け製品開発、市場調査、ビジネスプラン作成を行うアドバイザリー・サービスの顧客対応を行う。

第4回

6月29日(木)

19:00~20:30

僕はミドリムシで 世界を救うことに 決めました。

微細藻ミドリムシ(学名:ユーグレナ)はワカメやコンブと同じ藻の一種で、栄養価が高くCO₂を吸収することから、食料問題、エネルギー問題、地球温暖化の解決など様々な観点から注目を集めています。株式会社ユーグレナは「絶対に不可能」とまで言われてきたミドリムシの食用屋外大量培養に2005年に世界で初めて成功し、2014年12月3日、大学発ベンチャー企業として日本で初めて東証一部に上場しました。講演では起業を思い立ってから、上場までの軌跡、今後の未来像についてお話し致します。



出雲 充

株式会社ユーグレナ代表取締役社長

駒場東邦中・高等学校、東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。同年12月に、世界でも初となる微細藻ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の食用屋外大量培養に成功。世界経済フォーラム(ダボス会議)Young Global Leader、第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」(2015年)受賞。著書に『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』(ダイヤモンド社)がある。

第5回

7月8日(土)

14:00~16:00

講演 14:00~14:40

国鉄からJR九州へ ～上場への道のり～

人口減少や他交通機関との競争で厳しい状況下の九州で、社員の意識改革、新事業挑戦による経営の多角化、特長ある列車群と地域観光のブランド化などに果敢に取り組んだJR九州30年の歩みを通じて、長崎の地域振興のヒントになるお話をします。

1945年東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、日本国有鉄道に入社。分割民営化後はJR九州に配属され、2002年社長就任。2014年より現職。(一社)九州観光推進機構会長、(一社)九州経済連合会副会長、NHK経営委員会委員長、長崎県観光ハイエンドブラン検討会議委員ほか公職多数。



石原 進

九州旅客鉄道株式会社 相談役
一般社団法人九州観光推進機構 会長

講演 14:40~15:10

変動する世界にどう向き合うか 寺島 実郎

一般財団法人 日本総合研究所会長
多摩大学学長

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程終了後、三井物産入社。三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。著書に『シルバー・デモクラシー 戦後世代の覚悟と責任』(岩波新書)、『寺島実郎 中東・エネルギー・地政学 全体知への体験的接近』(東洋経済新報社)



鼎談 15:10~16:00

「長崎の活性化」をテーマに鼎談を行います

長崎大学長

石原 進 × 寺島 実郎 × 片峰 茂

※円滑な進行のため、講座開始後の入退室はご遠慮願います。